

世界遺産登録に向けて

佐渡金銀山絵巻をひもとく(8)

石撰建場と女性たち

坑内から運び出された鉱石は、石撰建場へ運ばれます。そこで「どべり」といわれる者たちが鉱石を洗い、石撰の女性たちに配ります。

「どべ」というのは泥のことで、彼らは土間のタタキや荒壁を塗るなど、左官のような仕事もしていました。

石撰の女性たちは、鉱石を上・中・下と品質別に選り分けます。

選り分けられた鉱石で石英質が多く白く見えるものを「からみ石」といい、これを一つつ白いつい石英の部分を取り除きます。

女性たちは、金児（坑内の採掘を請け負っている親方）に雇われ、鉱石の多少に関わらず、6時間程度（これを一枚肩といいます）働きました。賃金は男性の7割程度の26文から32文くらいでした。中には明六つ（午前6時）から暮れ六つ（午後6時）まで、「二枚肩」働いて倍の賃金をもらう者もいたそうです。

幕末に書かれた『ひとりあるき』という鉱山技術書に、根気のいる作業をこなすことと、賃金の安さからでしょうか、石撰は「女の業也」とあります。

相川金銀山の最盛期であった近世初期には、建場小屋が41軒、245人の石撰の女性たちが働いていました。坑内は女性禁制でしたが、坑外では女性が貴重な労働力として、佐渡金銀山を支えていました。



女性たちが石撰や不要な「からみ」を割り取っている。選り分けた鉱石を保管する奥の箱は「鏈立箱」という。

◆市役所世界遺産推進課（金井就業改善センター内） ☎63-5136

平成24年度世界遺産連続講座

～金を中心とする佐渡鉱山の遺産群～

入場無料・申込不要

世界遺産登録を目指す佐渡金銀山について、有識者が鉱山とそれを取りまく歴史や景観などをテーマに講演します。

連続の参加でなくても結構です。佐渡金銀山の歴史の奥深さにふれ、佐渡の新たな魅力を発見しませんか。お気軽に参加ください。

いきいき県民カレッジ登録講座

【第1回】

日時 7月1日（日）午後2時～4時
会場 トキのむら元気館ホール（新穂地区）
内容 佐渡市寺院建造物調査報告～中世と近代をむすぶ島～
講師 (株)グリーンシグマ 山崎完一氏 松田直子氏 風間善浩氏

【第2回】

日時 7月22日（日）午後2時～4時
会場 アミューズメント佐渡小ホール（佐和田地区）
内容 調査の最前線～鶴子銀山跡 最新成果が語る技術と暮らし
講師 新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室主任調査員 尾崎高宏 佐渡市世界遺産推進課調査係 主任 宇佐美亮

【第3回】

日時 8月19日（日）午後2時～4時
会場 トキのむら元気館ホール（新穂地区）
内容 遠隔操作型ロボットを用いた新穂銀山坑道調査
講師 松江工業高等専門学校電子制御工学科 教授 久間英樹氏

【第4回】

日時 8月26日（日）午後2時～4時
会場 トキのむら元気館ホール（新穂地区）
内容 世界遺産における鉱山遺跡
講師 (株)ゴールデン佐渡取締役社長 澤邊一郎氏

「親子で歩く世界遺産」参加者募集！

世界遺産登録候補構成資産に親しみ、学び、歴史の再発見や理解を深めることを目的に開催する「親子で歩く世界遺産」の参加者を募集します。

日時 7月8日（日）午前9時～正午（雨天決行）
集合場所 相川金山北沢地区駐車場
対象 原則は小学生とその保護者（定員40名）
申込期間 6月11日（月）～6月29日（金）
申込方法 電話、ファックスまたは郵送

※ファックス、郵送の場合は、申込書に必要事項を記入のうえ、お送りください。（申込書は、市役所世界遺産推進課または支所・行政サービスセンターにあります）

その他 参加料（保険料等）1,000円（児童500円）

行程 第3駐車場～無宿の墓～旧相川拘置支所～京町通り～時鐘楼～旧相川裁判所～佐渡奉行所跡～北沢浮遊選鉱場跡～北沢火力発電所・インクライン～シックナー

申込み・お問い合わせ

市役所世界遺産推進課
☎63-5136 FAX63-6130
住所 〒952-1292佐渡市千種246番地1

